

阿蘇・米本地域学校適正配置方針の決定と今後の予定について（説明会）要点筆記

日 時：令和2年6月27日（土）10：00～11：55

場 所：阿蘇中学校体育館

■参加者 100名

■出席者 教育委員会関係 17名（教育長，教育次長，各課課長，各課担当課員）

市長部局関係 4名（子育て支援課担当課員，資産管理課担当課員）

■学務課担当が「学校適正配置方針の決定と今後の予定について」説明（10：10～10：40）

■質疑・応答（10：40～11：50）

Q 阿蘇小・米本小・米本南小の跡地活用はどのように考えているか。阿蘇小は学童保育所として残してほしい。

A 学童保育所については，阿蘇中の敷地内に置く，その他の場所に置く等，準備委員会の中で御意見も参考に決めていく。

Q 自転車登校の中学生と低学年の小学生の登下校の時間が重なった場合，どのような安全対策を考えているか。

A 通学支援バスの安全な運行のため，正門入ってすぐのロータリーの改修を予定している。また，小学生と中学生の昇降口を分ける，職員が正門に立ち見守る等安全確保に努めていく。また，中学生が部活動のために早く登校する，小学生の朝運動の時間と重なる可能性があることについても，職員がつくことで安全を確保していく。

Q 成田市の下総みどり学園は，小学校の新校舎を建設，校庭を拡張している。現阿蘇中の校舎，校庭で9学年が生活すること，遊具の設置についても小学生にとって十分なものなのか。そのまま校舎を使うのであれば，階段の高さはどうしていくのか。

A 小学生向けの校庭の遊具については令和4年度までに整備していく。階段は中学生用なので，両側に手すりを付ける，滑り止めを追加することで対応していく。

Q 小中学生が一緒の校舎で生活することに不安を感じています。

A 学年ごとの教室配置を縦方向に配置することで，階段，トイレ，昇降口などの生活動線のある程度分けることができる。また，教育的見地から意図的に7～9年生と低学年児童を交流させることもあるが，この時は教職員が丁寧に見守る。同じ校舎で生活するため，小学生が（中学1～3年生にあたる）7～9年生の良さを体感することができることは義務教育学校の先行校からも聞いている。1～9年生までが同じ施設にいるメリットを考えていきたい。

Q 校長先生たちもいらっしゃっているので伺いたいですが、義務教育学校になったときの先生の負担はどうか。負担を感じる先生もいるのではないかな。

A いつも地域の方々の協力に感謝している。思春期の多感な子どもたちであるが、今の阿蘇中生は保護者・地域の皆さまに支えられて優しく育っている。小学生に優しくできると思うし、小学生もそんな中学生の背中を見て育っていくのだと思う。学校の規模が大きくなって大丈夫かという不安はあると思うが、教師集団を機能的に束ねていくことは校長の責任であり、たくさんの教職員で子どもたちを見守るということはとても大きなメリットだと思っている。

(市川塩浜学園に勤務していた教員からの体験談)

- ・行事を通じて、小中学生が関わり合うことで児童生徒の心の成長を感じることができる。
- ・小中学校の教員が同じ学校にいて小学校の授業改善が見られた。複数人で教科指導に当たることもできる。特に図工（美術）や音楽などでより専門的な指導を受けることができる。

■意見・要望

<義務教育学校について>

- ・小中一貫教育のデメリットについても説明してほしい。
- ・授業時間は小学生45分、中学生50分であるが、授業間の休み時間は小学生らしく遊ばせてあげたい。中学の授業に影響は出ないかな。
- ・一時期、阿蘇小の耐震工事中に5・6年生が阿蘇中の教室で生活をしていたことがあった。阿蘇小学校の子が中学校の子とかかわる機会があった。不安はあったが中学生が小学生の面倒を見てくれる姿を見て。以前は小中一貫での教育には不安があったがこの時の様子を見て、考え方が変わった。
- ・阿蘇小も地域によって子どもの数が減少している。今後のことも考えると小中一貫校にした方がいいと思うし地域の人にとってもいい結果になると思う。
- ・子ども達をこの話し合いに巻き込むのはいかなものかな。大人として、立場を持って意見交換をしたい。
- ・何がなんでも複式学級がダメということではないのではないかな。

<アンケート結果について>

- ・提出者の中での賛成・反対の割合であって、全体の意見ではない。資料としての数字の出し方に問題があるのではないかな。

<通学の安全確保について>

- ・体調不良等で通学支援バスに遅れたらどうなるのかな。
- ・自転車通学の中学生と徒歩通学の小学生がレーンを分けての登下校を実施しているし、教員の指導を見てきている。(阿蘇中保護者)

<地域コミュニティについて>

- ・米本団地は団地の中に遊歩道がある特殊な構造だから、良い子育てができる。
- ・米本団地の良さを生かしたまちづくりをしてほしい。
- ・団地から学校がなくなることは寂しいと思うが、子ども達は日中は学校に行っているので不在である。学校から帰ってきた時間にどう遊んでいけるのか等、新しい視点を持って考えていく必要があるのではないか。
- ・団地の遊具の追加設置や環境整備についてUR等に交渉することも必要だと思っている。

<市政について>

- ・市の私立の学校の例を見ても効果が高いところは明らかで、私は賛成する。予算がひっ迫しているが、教育に予算をつぎ込むべきだ。
- ・米本団地児童会館つくし幼児教室，高津児童会館，村上児童会館（すくすく文庫）等，子ども達のものを削っている。子ども達にお金をかけてほしい。